

かつらさんしゃいん
桂三輝さんインタビュー スクリプト

じ こしょうかい
○自己紹介

わたくし、こう見えても落語家なんです。

かつらさんし あらた しょうだいかつらぶんし ばんめ だし
桂三枝 改め、初代桂文枝の15番目の弟子の、

かつらさん かがや か かつらさんしゃいん
桂三に輝くと書きまして、桂三輝です。

にほんご
シンプルな日本語で？

「マイネーム イズ サンシャイン」…英語やん！

さんしゃいん
三輝ともうします。どうもー。

ちゅうとはんば はくしゅ はくしゅ はくしゅ
なんの中途半端な拍手。もっと拍手せな、拍手！

にほんご べんきょう
○いつから日本語の勉強をはじめましたか。

ねんまえ にほん い にほんご べんきょう
15年前に日本に行ってから、はじめて日本語を勉強しました。

にほんご
○どうやって日本語をおぼえましたか。

やっぱり、でかけたり、ひと であ はな みせ
人に会ったり、話したり。たとえば、お店

にほん みせ おお や
日本はちっちゃいお店が多いんですね。やきとり屋とか、そういうところ。

カウンターに座りますと、すわ ひと すこ にほんご はな
となりの人とふれあえます。少しずつ日本語を話
します。

○どうやって落語らくごをマスターしましたか。

マスターしてないです。まだ。まだまだ修業しゅぎょうが足りないです。

まあでも、落語らくごであり、日本語にほんごであり、外国語がいこくごであり、日本語にある

ことわざ「千里せんりの道みちも一歩いっほから」というのは、一歩目いっほめい行かないと、

二歩目にほめい行けないんですよ。One step at a time ということ、

そんなにあせらず、そんなに急いそがなくていいんですね。

少しずつすこ、少しずつすこ、少しずつすこ。積み重ねつかさで。

○日本語にほんごのかんたんなところ、難むずかしいところを教えてください。

かんたんなところ…日本語にほんごのかんたんなところは…なんだろうね（笑）

かんたんなところは、実は難むずかしいところとかんたんなところは一緒いっしょだと

おもいます。日本語にほんごは、ふつうのことばだけでなく、丁寧語ていねいご、敬語けいご、

尊敬語そんけいご、謙譲語けんじょうごいろんなレベルのことばがありますね。たとえば、「食べるた」

という動詞どうしも「食べるた」「食べますた」「めしあがりますか」「ああ、いただき

きました」と、いろんなレベルがありますから。これは難むずかしい。なぜかと

いうと、覚えるおぼのは時間じかんかかります。ところがですね、覚えますと絶対失礼ぜったいしつれい

にならない。英語えいごでしたら、とくに英語えいごの母国語ぼこくごではない人ひとはどうやったら

ていねいに話すはなかルールはあまりないですから、イントネーションとか、

からだの持ち方^{も かた}とか、いろんなびみ^{こころ}ょうなことで、ていねいな心^{こころ}とか
ていねいさが伝^{つた}わるんですけど、日本語^{にほんご}は（ルールが）決^きまってるんですか
ら、敬語^{けいご}とか丁寧語^{ていねいご}とかレベル^{ぜんぶおぼ}を全部覚えさえしたら、ぜ^{あいて}ったい相手^{しつれい}に失礼
にならないから、逆^{ぎゃく}にかんたんですね。